

消音ボックス付送風機 製品評価データシート 1【品質性能概要】 <評価基準>

	項目	単位等	評価基準	事由
0.基本事項				
	形式名		申請機種一覧表と適合している	評
1.適用範囲				
	種類			仕
	呼び番号		遠心形呼び番号2未満、斜流形呼び番号3以下	仕
	温度範囲	℃	-15℃～+40℃	JIS
	形式条件		遠心形又は斜流形	仕
2.性能				
2.1 試験成績表	JIS B 8330(送風機の試験及び検査方法)による試験成績書を提出		提出されており、適合している	JIS
	JIS B 83466(送風機及び圧縮機騒音レベル測定法)による試験成績書を提出		提出されており、適合している	JIS
	製品試験データをデータシート2に記		データシートに記入	
3.構造				
3.1 構造図、外形図等			JIS B 8331(多翼送風機) 図.6による構造図を提出	JIS
	外形図		提出 【参考】JIS B 8331(多翼送風機)の表10	評
	構造図		提出 【参考】JIS B 8331(多翼送風機)の図6	評
3.2 消音ボックス				
3.2.1 ケーシング仕様				
	ボックス形状		箱形又は円筒形	仕
	側板材料		塗装又は防錆処理を施した鋼板	仕
	防錆処理の種類			仕
	側板板厚	mm	0.8mm以上	仕
	内部点検の可否		内部点検可能であること	仕
3.2.2 消音内張仕様				
	材料		JISA6301(吸音材料)、GW吸音ボード	仕
	密度	k	40k以上	仕
	厚み	mm	25mm以上	仕
	飛散防止処理の有無		飛散防止処理を施していること	仕
	飛散防止処理の方法		鋸、座金又は接着剤等	仕
3.3 送風機本体				
3.3.1 ケーシング				
	羽根外径	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表3による	JIS
	構造		溶接、リベット締め又は折込み加工により成形補強	仕
	板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表3による	JIS
	塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
	防錆処理の種類			仕
3.3.2 羽根車				
	主板板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表6による	JIS
	側板板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表6による	JIS
	羽根板厚	mm	JIS B 8331(多翼送風機)の表6による	JIS
	釣り合いの良さの等級(JIS)		JIS B 0905(回転機械-鋼製ローターの釣り合い良さ)の参考付表1 G6.3以内	JIS
	材質		鋼板(亜鉛鉄板を含む)、アルミニウム材又は合成樹脂	仕
	塗装または防錆処理		塗装または防錆処理の有無	仕
	防錆処理の種類			仕

	項目	単位等	評価基準	事由
3.3.3	主軸			
	太さの安全率		危険速度が使用最大回転数の約1.3倍以上	JIS
	危険速度	rpm		
	使用最大回転数	rpm		
3.3.4	軸受			
	軸受種類		原則として転がり軸受	JIS
	軸受け潤滑油補充できる構造の有無		補充できる構造を有している	仕
	軸受け潤滑油種類		グリース(JIS K 2220)または同等品	JIS
	軸受け密封方式		シール軸受けまたはシールド軸受け	仕
3.6	Vベルト車	(Vベルト駆動の場合)		
	Vベルト車溝部形状の規格		JIS B 1854(一般用Vスリーブ)又はJIS B 1855(細幅Vスリーブ)による	JIS
3.7	Vベルトガード	(Vベルト駆動の場合)		
	Vベルトガードの取付の有無		取付	仕
3.8	共通ベッド			
	軸受・共通ベッドの材料種別		形鋼又は鋼板	JIS
	軸受・共通ベッドの接合加工種別		溶接加工、プレス成型及びボルト締め	JIS
4.材料			(JIS B 8331(多翼送風機)の表11による)	
4.1	ケーシング		JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC,SPCD、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3111(再生鋼材)のSRB330、JISG3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)のSPHC	JIS
4.2	吸込コーン		JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC,SPCD、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3131(熱間圧延軟鋼板及び鋼帯)のSPHC	JIS
4.3	羽根車主板側板及び羽根		JISG3141(冷間圧延鋼板及び鋼帯)のSPCC、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS400、JISG3131のSPHC、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISH4000(アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条) 合成樹脂(遠心送風機)	JIS 仕
4.4	羽根車ハブ		JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200、JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISH4040(アルミニウム及びアルミニウム合金の棒及び線)、JISH4140(アルミニウム及びアルミニウム合金鍛造品)	JIS
4.5	羽根車ステー・ボルト及びナット		JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS400、JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS30C、JISG3452(配管用炭素鋼鋼管)	JIS
4.6	ベッド		JISG3101(一般構造用圧延鋼板)のSS330、JISG3350(一般構造用計量形鋼)のSSC400、JISG3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)、JISG3111(再生鋼材)のSRB330	JIS
4.7	主軸		JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS30C以上のもの	仕
4.8	キー		JISG4051(機械構造用炭素鋼鋼板)のS45C	JIS
4.9	軸受箱		JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200	JIS
4.10	Vプーリ	(Vベルト駆動の場合)	JISG5501(ねずみ鋳鉄品)のFC200	JIS
4.11	材料証明(ミルシート)			
	本体		提出、規格に適合	評
	羽根車		提出、規格に適合	評
	主軸(電動機直動形は除く)		提出、規格に適合	評

	項目	単位等	評価基準	事由
5. 電動機				
5.1 電動機の規格				
	名称		単相誘導電動機、三相誘導電動機	仕
	規格番号		単相:JISC4203(一般用単相誘導電動機)、 三相:JISC4210(一般用低圧三相かご形誘導電動機)、JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ)	仕
	絶縁種別		製造者標準(E種、F種 等)	
5.2 保護方式				
	屋外		JIS C 4034-5(全閉防まつ形)IP44	仕
	屋内(多湿箇所)		JIS C 4034-5(全閉防まつ形)IP44	仕
	屋内(その他)		JIS C 4034-5(防滴保護形)IP22	仕
5.3 電動機の仕様				
	出力範囲	kW	製造者標準	
	相・極数	Φ・P	JISC4203(一般用単相誘導電動機)、 JISC4210(一般用低圧三相かご形誘導電動機)、 JISC4212(高効率低相三相かご形誘導電動機)、JISC4213(低圧三相かご形誘導電動機－低圧トップランナーモータ)の規定範囲 <b>電動機直動形の場合は4極以上</b>	JIS
	始動方式		11kW未満:直入、11kW以上:スターデルタ等	仕
6. インバータ制御装置(可変電圧可変周波数制御装置)			特記対応	仕
	インバータ制御装置の適用の場合			仕
	1)インバータ用制御装置を設ける場合は、次の保護機能を設ける。		電流表示、過負荷及び欠相保護装置は、不要とする。	仕
	①過電流、欠相、過電圧等が発生した場合の電動機停止する保護機能		具備	仕
	②短絡により作動する保護制御機能		具備	仕
	③ストール防止機能		具備	仕
	④継電器等のコイル部のサージ対策		サージキラー等を具備	仕
	⑤制御方式		正弦波パルス幅変調方式又はパルス振幅変調方式	仕
	⑥瞬時の電圧低下対策		自動回復運転機能を具備	仕
	⑦負荷特性に合わせた加減速時間の調整		具備	仕
	2)高調波対策(特記による)		特記対応とし、特記が無ければ下記(a)から(d)のいずれかによる	仕
	①高調波対策		(a)高調波対策として直流リアクトル等により、「高圧又は特別高圧で受電する需要家の高調波抑制ガイドライン」及び「高調波抑制対策技術指針((一社)日本電気協会)」による換算係数 $K_i=1.8$ 以下(交流側リアクトルで $K_i=1.8$ となる対策を除く)となる対策	仕
			(b)JIS C 61000-3-2「電磁両立性 - 第3-2部: 限度値 - 高調波電流発生限度値(1相当たりの入力電流が20A以下の機器)」が適用された機器	仕
			(c)基本波力率が1であるときの入力力率が0.94以上のインバータ制御装置	仕
			(d)基本波力率が1であるときの入力力率が0.94以上となるように、直流リアクトル等と組み合わせたインバータ制御装置	仕
	②高周波ノイズ対策用		入力側に零相リアクトル等を設ける。ただし、インバータ制御装置本体に零相リアクトル等が内蔵されているものは除く。	仕
76. 塗装				
76.1 外面	外面塗装種別		種別が記入してある	仕
	外面塗装下塗り回数		回数が記入してある	仕
	外面塗装仕上げ回数		回数が記入してある	仕

	項 目	単位等	評価基準	事由
76.2 内面	内面塗装種別		種別が記入してある	仕
	内面塗装下塗り回数		回数が記入してある	仕
	内面塗装仕上げ回数		回数が記入してある	仕
87. 附属品				
	相フランジ		設置(フランジ方式の場合)	仕
	電源用端子台又は電源用コード(約1m)		設置	仕
98. 銘板	銘板		設置	仕
	銘板に表示する内容			
	1.製造者名		社名	承
	2.形式		製造者標準	承
	3.呼び番号	No, mm	製造者値	承
	4.製造年月		製造年月又は製造年	承
	5.製造番号		製造者標準	承
	6.風量	m <sup>3</sup> /h	製造者値	承
	7.静圧	Pa	製造者値	承
	8.回転数	min <sup>-1</sup> (rpm)	製造者値	承
	9.電源	φ, V, Hz	製造者標準	承
10.電動機出力	kW	製造者値	承	
109. 提出書類の確認				
	承諾函		提出できること	承
	完成函		提出できること	承
	取扱説明書		提出できること	承
	試験成績書		提出できること	承
	基礎ボルト耐震計算書		提出できること	承 設
備 考				

評価基準の事由

- 仕 : 標準仕様書又は改修標準仕様書の規定による
- 設 : 設計基準の掲載事項による
- 承 : 機材承諾函様式集の掲載事項による
- 評 : 評価事業による確認事項
- JIS : 日本産業規格の規定による